

水道事業会計

水道事業会計〔上下水道事務所 上下水道課 所管〕

1. 概要

守谷市の水道事業は、昭和46年に旧守谷地区の一部を給水区域として簡易水道事業が発足した。昭和53年には上水道事業に移行し、順次給水区域を拡大して、昭和63年3月には配水管網の整備を完了した。その後も安定給水のため取水施設や配水施設を整備し、現在に至っている。

平成28年度も、茨城県企業局が行う県南広域水道用水供給事業（利根川浄水場）からの浄水受水と、井戸から汲み上げた地下水を浄水して、安定した給水に努める。

浄水施設や配水施設など水道施設の運転管理・維持管理は、引き続き民間企業による包括管理委託で行う。また、配管台帳の電子化及び設備台帳を整備して維持管理の効率化を図るとともに、定期的な水質検査や鉛製給水管の布設替えを実施して、水質管理の強化に努める。

工事については、引き続き耐震性強化のため、配水管（石綿管）の布設替えを実施し、有収率の向上及び漏水による事故防止並びに経営基盤の強化に努める。

2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
水道事業収益	営業収益	1,357,521	84.5	1,343,991	80.3	13,530	1.0
	営業外収益	249,087	15.5	329,518	19.7	△80,431	△24.4
	特別利益	3	0.0	3	0.0	0	0.0
収入合計		1,606,611	100.0	1,673,512	100.0	△66,901	△4.0

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
水道事業費用	営業費用	1,515,256	96.3	1,585,842	96.7	△70,586	△4.5
	営業外費用	53,002	3.4	49,911	3.0	3,091	6.2
	特別損失	1,082	0.1	1,082	0.1	0	0.0
	予備費	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
支出合計		1,572,340	100.0	1,639,835	100.0	△67,495	△4.1

3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位：千円，%)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
資本的収入	他会計負担金	775	35.5	1,296	50.7	△521	△40.2
	他会計補助金	150	6.9	0	0	150	皆増
	工事負担金	1,260	57.6	1,260	49.3	0	0.0
収入合計		2,185	100.0	2,556	100.0	△371	△14.5

(支出)

(単位：千円，%)

款	項	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	増減率
資本的支出	建設改良費	220,027	93.3	214,593	93.4	5,434	2.5
	企業債償還金	15,715	6.7	15,065	6.6	650	4.3
支出合計		235,742	100.0	229,658	100.0	6,084	2.6

【収益的収入】

1 営業収益

○給水収益 1,278,246 千円 (1,262,462 千円) 予算書 P361

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	増 減 額	増減率(%)
総 調 定 件 数	件	158,440	154,540	3,900	2.5
内 訳	定 例 分	156,100	152,200	3,900	2.6
	随 時 分	2,100	2,100	0	0.0
	仮 設 分	240	240	0	0.0
総有収水量 (A)	m ³	6,301,600	6,222,400	79,200	1.3
内 訳	定 例 分	6,287,200	6,208,000	79,200	1.3
	随 時 分	12,000	12,000	0	0.0
	仮 設 分	2,400	2,400	0	0.0
予 算 額 (B)	千円	1,278,246	1,262,462	15,784	1.3
内 訳	定 例 分	1,274,476	1,258,692	15,784	1.3
	随 時 分	3,045	3,045	0	0.0
	仮 設 分	725	725	0	0.0
供給単価 (B/A)	円	202.84	202.89	△0.05	0.0

* 積算根拠

定例分 6,287,200m³×202.71 円 (供給単価) ≒ 1,274,476 千円

※定例分の積算結果は、供給単価の一銭未満切り捨てのため差異が生じます。

随時分 12,000m³×253.80 円 (供給単価) ≒ 3,045 千円

仮設分 2,400m³×302.40 円 (供給単価) ≒ 725 千円

2 営業外収益

○分担金収入 91,260 千円 (170,208 千円) 予算書 P361

区 分		平成 28 年度	平成 27 年度	増 減 額	増減率(%)
新 規 加 入 者	箇所	250	250	0	0.0
開 発 業 者 等	箇所	212	780	△568	△72.8
予 算 額	千円	91,260	170,208	△78,948	△46.4

* 積算根拠

新規加入者 250 箇所× 216,000 円 (口径 20 mm) = 54,000 千円

開発業者等 79 箇所× 108,000 円 (口径 20 mm) = 8,532 千円

マンション 133 箇所× 216,000 円 (口径 20 mm) = 28,728 千円

【収益的支出】

1 営業費用

○原水及び浄水費 702,010 千円 (694,288 千円) 予算書 P362

[水道事業収益：702,010 千円]

(目的及び期待する効果)

利根川浄水場からの浄水受水と地下水浄水により、水道水を安定的に確保する。

(内容)

年間契約水量に基づき、利根川浄水場から浄水を受水する。また、浄水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的に行うとともに、地下水(井戸水)浄水の水質検査を行う。

(1) 委託料 浄水場運転管理委託料 85,835 千円

排水池汚泥清掃委託料 14,580 千円

水質検査委託料 3,096 千円

(2) 受水費 基本料金 322,665 千円 (契約水量 19,300m³×1,290 円/m³×12 月×1.08)

使用料金 274,955 千円 (使用水量 15,500m³/日×45 円/m³×365 日×1.08)

(3) その他 修繕費ほか 879 千円

○配水及び給水費 230,792千円(307,846千円) 予算書 P363

[その他: 32,616千円 水道事業収益: 198,176千円]

*その他積算根拠

[負担金: 消火栓維持管理負担金 32,076千円]

[負担金: 配水管等修繕負担金 540千円]

(目的及び期待する効果)

配水・送水施設等を適正に管理して、水道水を安定的に供給する。また、定期的な水質検査を行い、水道水の安全性を確保する。

(内容)

配水池・配水ポンプなどの配水・送水施設の運転管理、維持管理を包括管理委託により効率的、かつ効果的に行う。また、引き続き消火栓や鉛製給水管の取替え及び配管台帳を電子化して効率的な維持管理と水道水の定期的な水質検査を行う。

(1) 委託料	浄水場運転管理委託料	63,408千円	
	水質検査委託料	5,065千円	
	上下水道管路管理システム委託料	20,169千円	
	給水管設計委託料	5,289千円	
(2) 修繕費	配水管等修繕費	45,166千円	(消火栓取替工事を含む。)
	給水管維持修繕費	31,493千円	(給水管布設替工事を含む。)
	量水器購入費	31,260千円	
	量水器取替費	22,360千円	
(3) その他	材料費ほか	6,582千円	

○受託工事費 1,080千円(1,080千円) 予算書 P364

[その他: 1,080千円]

*その他積算根拠

[受託工事収益: 給水管布設替整備受託収入 1,080千円]

(目的及び期待する効果)

道路工事に支障をきたす給水管を移設する。

(内容)

一般会計負担により、給水管の布設替工事を実施する。

(1) 工事請負費	給水管布設替整備受託工事費	1,080千円
-----------	---------------	---------

○総係費 196,664千円(183,644千円) 予算書 P364

[その他: 42,149千円 水道事業収益: 154,515千円]

*その他積算根拠

[負担金: 下水道使用料徴収事務受託負担金 38,655千円]

[負担金: 農業集落排水処理施設使用料徴収事務受託負担金 289千円]

[負担金: 事務事業運営経費負担金 2,981千円]

[補助金: 児童手当給付補助金 224千円]

(目的及び期待する効果)

確実な料金徴収事務と適正な経理を行う。また、事業計画等に基づき安定した事業の継続と効率的な運営を図る。

(内容)

事業経営に必要な委託料、電気料及び物件費、人件費などの経費を計上する。また、設備台帳の整備及び浄水施設の運用の在り方を検討する。

(1) 委託料	上下水道料金徴収委託料	68,248千円
	浄水施設運用検討委託料	9,062千円
	設備台帳整備委託料	10,379千円
	その他委託料	4,438千円
(2) 手数料	上下水道料金口座振替等手数料	1,855千円

(3) 動力費 浄水場電気料	28,650 千円
(4) その他 職員給与費ほか	74,032 千円

2 営業外費用

○支払利息 2,411 千円 (3,060 千円) 予算書 P368

[水道事業収益：2,411 千円]

(単位：千円)

区 分	平成 27 年度末 残高見込額 (利息) (A)	平成 28 年度償還額			平成 28 年度末 残高見込額 (利息) (A-B)
		元金	利息(B)	計	
上水道事業債	10,463	15,715	2,411	18,126	8,052

3 特別損失

○過年度損益修正損 1,081 千円 (1,081 千円) 予算書 P368

[水道事業収益：1,081 千円]

(目的及び期待する効果)

水道料金等の債権を適正に管理する。

(内容)

事実の発生に基づき、決算された収入額を減額修正し、収納状況に応じて還付する。

・過年度調定還付修正額	水道料金	432 千円
	分担金	648 千円
	貸倒損失	1 千円

【資本的支出】

1 建設改良費

○上水道建設費 217,401 千円 (213,033 千円) 予算書 P369

[その他：2,185 千円 積立金等：214,942 千円 過年度分損益勘定留保資金：274 千円]

*その他積算根拠

[負担金：消火栓設置工事負担金	775 千円]
[負担金：道路改良事業工事負担金	1,260 千円]
[補助金：児童手当給付補助金	150 千円]

(目的及び期待する効果)

水道利用者に対して安全安心な水道水を継続的に供給するため、水道施設の建設又は改良を行う。

(内容)

水道利用状況や配管の整備状況を踏まえ、配水管の布設工事を実施する。また、配水管の耐震性強化のため、石綿管の布設替工事を実施する。

(1) 委託料	実施設計委託料	13,073 千円
(2) 工事請負費	配水管布設工事費	21,600 千円
	配水管布設替工事費	172,331 千円
(3) その他	職員給与費ほか	10,397 千円

2 企業債償還金

○企業債償還金 (元金) 15,715 千円 (15,065 千円) 予算書 P370

[積立金：274 千円 過年度分損益勘定留保資金：15,441 千円]

(単位：千円)

区 分	平成 27 年度末 残高見込額 (元金) (A)	平成 28 年度償還額			平成 28 年度中 借入予定額(C)	平成 28 年度末残 高見込額(元金) (A-B+C)
		元金(B)	利息	計		
上水道事業債	81,375	15,715	2,411	18,126	0	65,660

企業債の借入利率別現在高の状況（平成 28 年度末見込・元金）

区 分	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下	3.5%以下	4.0%以下
残 高(千円)	0	0	9,946	18,974	12,335	14,009	0
件 数 (件)	0	0	4	7	5	3	0
区 分	4.5%以下	5.0%以下	5.5%以下	6.0%以下	6.5%以下	6.5%超	計
残 高(千円)	0	10,396	0	0	0	0	65,660
件 数 (件)	0	2	0	0	0	0	21

